



Scan for full manual

KDS-8F クイック スタート ガイド

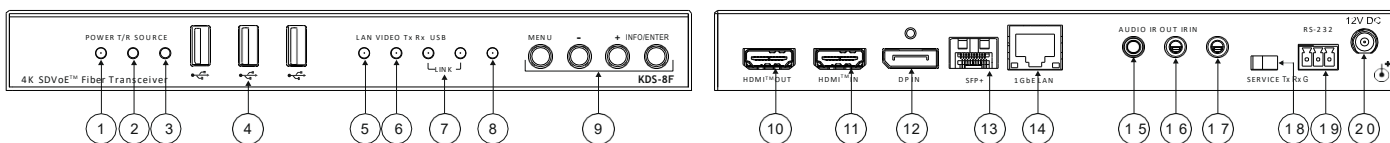
このガイドは、KDS-8F を初めてインストールして使用する際に役立ちます。

www.kramerav.com/downloads/KDS-8F にて最新のユーザー マニュアルをダウンロードし、ファームウェアのアップグレードが利用可能かどうかを確認します。

ステップ 1 : ボックスの内容を確認する

- KDS-8F 4K SDVoE™ トランシーバー
- 12V DC 電源アダプター
- 4ゴム足
- 1 SFP+ モジュール
- クイックスタートガイド

ステップ 2 : KDS-8 の説明



No.	項目	機能	
1	電源 LED	通電しているときに点灯します	
2	T/R LED	エンコーダーモード：緑色に点灯 デコーダーモード：黄色に点灯	
3	ソース LED	エンコーダー/デコーダーモード：HDMI IN 入力があり、選択されたときに緑色に点灯します。 エンコーダー/デコーダーモード：DP 入力があり、選択されたときに橙色に点灯します。 エンコーダーモード：SFP+ ソースが選択されている場合は消灯します。	
4	USB Connectors	Decoder mode: Connect to keyboard, camera, and mouse (KVM).	
5	LAN LED	1GbE LAN 接続がアクティブなときに点灯します	
6	ビデオ LED	エンコーダーモード：HDMI™ 入力信号を検出すると点灯します デコーダーモード：ゲンロックモード - ストリーミングビデオが検出されると点灯します FastSwitch モード - 常時点灯	
7	Tx および Rx リンク LED	SPF+ 10GbE ストリーミング接続を介したデータ送受信アクティビティを示すために点灯します	
8	USB LED	USB 接続がアクティブで同期中の場合、常に点灯します	
9	OSD ナビゲーション ボタン	MENU	押すと設定 OSD メニューに入るか、メニュー項目を終了します
		+	OSD の場合：押すと上に移動するか、選択を調整します OSD ではない場合： <ul style="list-style-type: none"> 両方のボタンを同時に 10秒間押し続けると、モードがエンコーダーからデコーダー、またはデコーダーからエンコーダーに変更されます デコーダーモード：ボタンの 1つを押して、ビデオソースを SFP+、HDMI IN、DP IN で切替えます
		-	OSD の場合：押すと下に移動するか、選択を調整します
	INFO/ENTER	OSD 内のとき：押して、選択を確定するか、メニュー項目をさらに深く掘り下げます OSD 内ではないとき：押し Information OSD を有効にします	
10	HDMI OUT コネクタ	エンコーダーモード：HDMI IN に接続されたビデオソースをローカルで表示するために、ビデオアクセプターに接続します デコーダーモード：ビデオアクセプターに接続して、エンコーダーからストリーミングされたビデオを表示します	
11	HDMI IN コネクタ	エンコーダーモード：ストリーミングするビデオソースに接続します デコーダーモード：ローカルビデオ入力用のビデオソースに接続します	
12	DP IN コネクタ	エンコーダーモード：ストリーミングするDisplayPortビデオソースに接続します デコーダーモード：ローカルビデオ入力用のDisplayPortビデオソースに接続します	
13	SFP+ コネクタ	光ファイバーケーブルを介して別の SDVoE™ ユニットまたはストリーミングビデオ用の別のデバイスに接続します	
14	1GbE LAN RJ-45 コネクタ	1G デバイスに接続します	
15	AUDIO 3.5mm ジャック	エンコーダーモード：ストリーミング信号に音声をエンベッドするために、アンバランスアナログ音声ソースに接続します デコーダーモード：ストリーミング信号からディエンベッドした音声信号を接続したアンバランスアナログ音声アクセプターに出力します	
16	IR OUT 3.5mm ジャック	ストリーミングライン経由で伝送された IR 信号を送信するための 38kHz IR トランスミッターに接続します たとえば、IR トランスミッターに接続してディスプレイを制御します	
17	IR IN 3.5mm ジャック	ストリーミングライン経由で IR 信号を送信するために 38kHz IR センサーを接続します	
18	SERVICE ミニUSB コネクタ	エンコーダーモード：ホスト(PC)に接続します	
19	RS-232 3ピンターミナルブロック	シリアルコントローラまたはシリアル制御デバイスに接続して、ストリーミングライン経由でシリアル制御信号を送信し、外部デバイスを制御します	
20	12V DC コネクタ	電源アダプタを接続します	

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



ステップ 3 : KDS-8Fを設置する

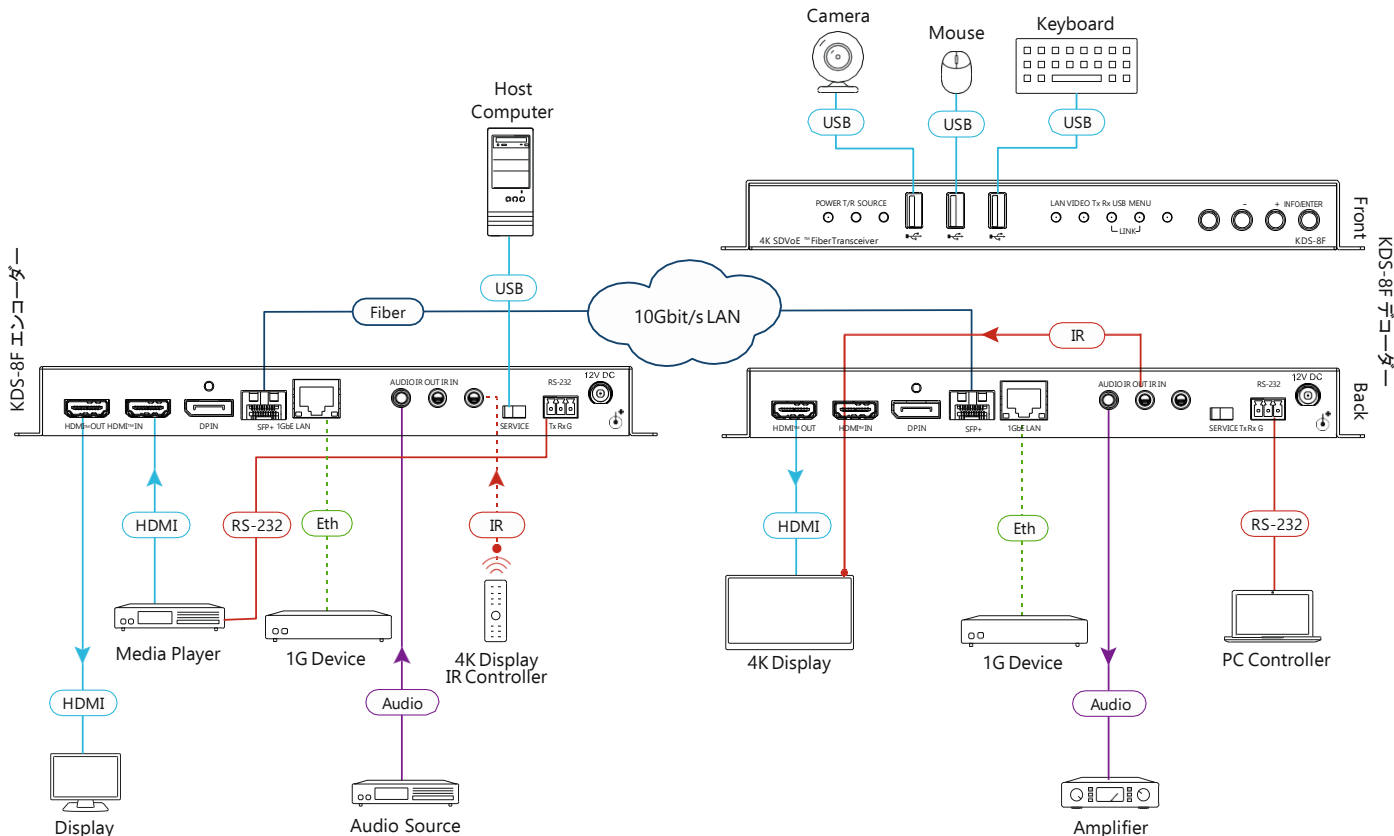
付属の取り付けブラケットを使用して平らな面に取り付けるか、平らな面に置きます。



- 環境(最大周囲温度や空気流量など)がデバイスに適合していることを確認してください。
- 不均一な機械的負荷を避けてください。
- 回路の過負荷を回避するために、機器の銘板定格を適切に順守してください。
- ラックに設置する際は、信頼性の高い接地を維持してください。
- 本機の最大設置高は2メートルです。

ステップ 4 : 入力、出力の接続

KDS-8F に接続する前に、必ず各機器の電源を切ってください。 最良の結果を得るために、常に Kramer 高性能ケーブルを使用して KDS-8F にAV機器を接続することをお勧めします。



ステップ 5 : 電源を接続する

電源コードを KDS-8F に接続して主電源に接続します。

安全についての案内 (最新の安全情報については、www1.kramerav.com を参照してください。)



- 注意:
- リレー端子とGPIOポートを備えた製品については、端子の横またはユーザーマニュアルにある外部接続の許容定格を参照してください。
 - 本機の内部には使用者が修理できる部品はありません。
- 警告:
- 本機に付属の電源コードのみを使用してください。
 - 取り付けの前に、電源を切り、本機の電源プラグを抜いてください。

ステップ 6 : KDS-8F を操作する

エンコーダー/デコーダー モードを変更するには:

初期設定はエンコーダーに設定されています。

- + (プラス) と - (マイナス) ボタンを同時に 10 秒間押し続けます。エンコーダー/デコーダーモードが変わります。

Stream Video:

1. エンコーダーモードのユニットとデコーダーモードのユニットを同じ 10G イーサネットスイッチに接続します。 KDS-8Fは、DHCP が有効でプラグアンドプレイに対応しています。



ネットワークで DHCP を使用できない場合は、APIPA (自動プライベート IP アドレス指定) アドレスが割り当てられます。

2. Kramer Network Enterprise Management Platform を使用して、デコーダーをエンコーダーソースにサブスクリブします。(詳細は、www1.kramerav.com/product/KDS-8F にアクセスしてください)